

第3回佐野市気候変動対策推進協議会適応部会 要旨

- 1 会議開催年月日 令和6年12月18日(水) 午前10時00分から11時00分
- 2 会議開催の場所 市役所本庁舎6階 大会議室D
- 3 出席委員 別紙のとおり
- 4 会議の進行状況

【開会】第3回佐野市気候変動対策推進協議会適応部会

事務局より開会宣言 午前10時00分 開会

【挨拶】

<部会長より挨拶>

前回の第2回適応部会では、佐野市気候変動適応計画原案について共有し、様々なご意見をいただいた。今回が、計画策定に係る最後の会議であり、本計画が佐野市の適応策の道しるべとなるよう、各分野からのご意見をいただきたい。

【議事(1) 佐野市気候変動適応計画(案)について】

○事務局から説明。

○議長から、意見・質疑の有無の確認。

○国立大学法人宇都宮大学 教授 高橋委員

- ・2章、P5,6あたりに、緩和と適応を一緒に推進していくといった文言があると良いのではないか。
- ・写真が多くあり、好感が持てる。写真があることで、自分事を感じられる。
- ・都市緑化について指摘させてもらったが、どこかに追記があるのか。PDCAサイクルについての期間等の追記はされないのか。

○事務局(高橋委員への回答)

- ・緩和と適応の推進については、計画の位置づけの部分で示し、具体的な内容は適応についての記載をする計画にする。
- ・都市緑化は、P56に取組を位置づけている。

○佐野商工会議所 産業経済委員会委員長 井川委員

- ・都市緑化の関係、里山再生やその人材育成について、前回指摘したが、記載はあるか。

○事務局(井川委員への回答)

- ・P54に記載している。

○佐野商工会議所 産業経済委員会委員長 井川委員

- ・P2、「本計画の位置づけ」の各計画との連携があるが、国土強靱化計画の策定は国、県、市で連携(横の関係)がない。他市等との連携について明記するべきでは。

○事務局（井川委員への回答）

- ・そちらは、国土強靱化の本計画で位置づけるべきで、そちらに位置づけられれば、こちらにも明記する。

○佐野商工会議所 産業経済委員会委員長 井川委員

- ・必要があれば明記した方が良いと思う。

○国立大学法人宇都宮大学 教授 高橋委員

- ・（横の連携について）とても良い指摘。IPCCでも連携については危惧しているところで、どこかに積極的にやることを明記できると良いと思う。
- ・佐野市はホットスポット。暮らしやすい場所にしていくという、ポジティブな意見が入ると良いと思う。

○佐野市あそ商工会議所 副会長 大関委員

- ・本当に5.4℃上がっているのか？そうであれば、高橋委員同様、積極的な文言を入れた方が良いと思う。

○環境省 関東地方環境事務所 環境対策課 地域適応推進専門官 川原委員

- ・資料構成は良い。P2、適応法が基になり、作られているのは良いが、適応法14条が抜けている。P62、横の連携（法定協議会）について、佐野市も参加しているので、記載した方が良い。防災については、国交省（流域治水協議会）の情報交換もしているので、明記すると良いと思う。
- ・P62、P63で推進することは示しているが、（実施する事業の）優先順位を決めて、明記しても良いのではないかと思う。法改正もされ熱中症について強化するような改正でもあるため、例えば熱中症について優先的に実施すると言ったようなものはどうか。国も熱中症及び防災に関して分科会を設置して、メリハリの様なものを付けている。そのあたりの重点的に取り組むことを明記すると見えやすくなると思う。

○議長から川原委員へ、重点的な取組に関して、他自治体の動向についての話を要望。

○環境省 関東地方環境事務所 環境対策課 地域適応推進専門官 川原委員

- ・熱中症対策分科会では、ターゲットを7つに絞っている。佐野市もターゲットを決めて、何をやっていくのかを明確にしてやっていくのが良いと思う。

○佐野商工会議所 産業経済委員会委員長 井川委員（川原委員への質問）

- ・ターゲット・優先順位を決めてと言うのはとても良いが、ターゲットと重点的にやるべき事が曖昧になることがある。一見して見やすいものを計画で示すと良いというお話で良いか。

○環境省 関東地方環境事務所 環境対策課 地域適応推進専門官 川原委員
（井川委員への回答）

- ・おっしゃる通り。

○佐野商工会議所 産業経済委員会委員長 井川委員

- ・ホットスポットである佐野市の計画で視覚的に見やすく、重点的に取り組む内容がパッと分かれば、他市町等にも良い影響（アピール等）を与えるのではないか。

○環境省 関東地方環境事務所 環境対策課 地域適応推進専門官 川原委員
(井川委員への回答)

- ・おっしゃる通り。

○国立大学法人宇都宮大学 教授 高橋委員

- ・気温の上昇温度がスウェーデンの4倍。昨日、品川区の学習施設に見学に行き、その施設は暖房無しで暖かかった。ZEBの補助金を活用して建築されている。市民が集まる所があり、その建物がZEB化していると良いと思う。素晴らしい緩和策・適応策になる。そういったことを推進するのに推進協議会の設置はとても重要。ワクワクする物を行えると良い。

・マルメ市の計画が以前200ページで読まれなかったものが現在20ページになり読みやすくなった。そういった工夫があっても良いと思う。

○環境省 関東地方環境事務所 環境対策課 地域適応推進専門官 川原委員

- ・適応策の記載がP49からあるが、適応策の担当課の記載があるとより具体的になるのではないかと思う。

○事務局 (川原委員への回答)

- ・それは考えている。しかし、熱中症対策のように担当部署が明確となっていない部分もあるため、P51に記載しているが、別で取組や事業者等を具体的に示していければと考えている。

○公募委員 丸山委員 (副会長)

- ・今回の内容の変更で見やすくなった。写真等が入り分かりやすい。
- ・横の連携については、市内部の部署の連携をし、かつ密にお願いしたいと思う。

○議長から、その他、全体について意見・質疑の有無の確認。(意見なし)

【議事(2)今後のスケジュール(案)について】

○事務局から説明。

○議長から意見・質疑の有無の確認。(意見なし)

【その他について】

○事務局

- ・追加の意見等がある場合は、12月19日までに事務局までいただくよう依頼。

【閉会】

事務局より閉会宣言 午前11時00分 閉会